

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施設 対象	うち 多額 の経費 対象	①事務事業の概要 ②課題	29年度決 算額[千 円]	30年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和元年度に取組む改革・改善内容	元年度予 算額[千 円]
1	一般	3	1	1	111地域で支えあう福祉社会の形成	社会福祉事務に要する経費	社会福祉課	○		①社会福祉協議会への活動助成。被災者支援。福祉健康フェアの開催。社会福祉法人への指導監査。 ②社会福祉協議会との連携、自然災害による被災者支援、少子高齢化による担い手不足などが課題。	56,423	111,774	6精査・検証	①少子高齢化等様々な課題に対し、ボランティア育成や相談支援等の地域福祉活動の充実強化を図る必要がある。 ②社会福祉協議会の地域福祉活動に対して補助金を交付し、地域福祉を促進する。	60,814
2	一般	3	1	1	111地域で支えあう福祉社会の形成	民生委員・児童委員に要する経費	社会福祉課	○		①民生委員・児童委員及び主任児童委員の調査・相談活動を支援するため、活動費を補助する。 ②幅広い地域ニーズに対応している民生委員への負担は重くなる一方、この点へのフォローが必要。	6,448	7,626	6精査・検証	①民生委員児童委員及び主任児童委員がその職務を円滑に行えるよう、委嘱や活動の補助について検証が必要である。 ②民生委員児童委員及び主任児童委員が今年度一斉改選になるため、欠員なく委嘱できるよう調整する。	7,769
3	一般	3	1	1	111地域で支えあう福祉社会の形成	地域福祉に要する経費	社会福祉課			①誰もが住みやすい地域づくりや安全で安心して暮らせるまちづくりを目指して、地域福祉に関する各種事業を行う。 ②地域での日ごらの見守り活動や避難時要支援者への支援方法などが課題。	2,323	4,711	6精査・検証	①高齢化、核家族化などにより、地域のつながりの希薄化が年々進んでおり、支えあいを充実させる必要がある。 ②避難行動要支援者避難支援制度について運用に向け自治会等に周知・協定締結を進める。	8,042
4	一般	3	1	1	111地域で支えあう福祉社会の形成	戦没者遺族等の援護に要する経費	社会福祉課			①市戦没者追悼式の開催、特別弔慰金等の申請受付、その他戦没者遺族に対する援護事務。 ②戦没者遺族の高齢化による式典への参加者の減少、援護対象者の漸減。	563	562	6精査・検証	①遺族の高齢化が進み、対象者は漸減しているが、今後も戦没者の追悼、平和の大切さを啓発する必要がある。 ②戦没者等の遺族に対する特別弔慰金（第10回）の国債券交付を完了させる。	573
5	一般	3	1	2	111地域で支えあう福祉社会の形成	総合福祉保健センターの管理に要する経費	社会福祉課			①総合福祉保健センターの維持管理、補修等を行い施設の安全面等の確保を図る。 ②H26年度に大規模改修を実施したが、設備の経年劣化も見られ、計画的な設備の改修更新が必要。	41,927	39,616	6精査・検証	①公共施設の長寿命化に関する基本方針に基づき、施設の延命化を図っていく必要がある。 ②経年劣化した設備等の修繕を行うなど施設の安全面を確保する。	39,011